

ヒマラヤ学誌 執筆要領

1. 投稿原稿の構成

論文、研究ノートなどの原稿は、表題、著者名、所属機関名、要旨、本文、引用文献、図表、英文要旨からなるものとする。英文要旨内には、英文で表題、著者名、所属機関名を入れること。書評および本の紹介の原稿には、評者名、評者の所属機関名、書名、著者名、出版地、出版社、刊行年、総ページ数を明記すること。評者名と所属機関名に英文を付し、書籍に記載がある場合には書名と著者名にも英文を付すこと。

2. 原稿のページ設定

原稿は、A4 サイズ横書きとする。投稿原稿テンプレートを参考されたい。

3. 表記の原則

用語、固有名詞などの表記の統一に留意すること。国名、地名、人名などは、漢字による表記が慣例になっている場合を除き、原則としてカタカナ書きにすること。なお、一般化していない固有の名称については、初出に限りその言語（アルファベット表記）をカッコ内に付記すること。原稿中の年号、月日、およびその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。ただし万以上の数字には、万、億、兆などを用いる。概数の場合は、十数人、十数年などとする。なお、年号は原則として西暦とする。句読点は「。」、「、」を用いる。

4. 引用文献の表記

引用文献や参考文献の書誌情報は、本文の後に「引用文献」として一括して記載する。本文および注のなかで、引用または参照のために文献を挙げるときは、下記の例にしたがって、著者名、発行年、ページ数を全角角カッコ内に示し、本文中に入れることとする。

例

- … [鹿野 1946: 291-293]。
- … [山田・鈴木 2018]。
- … [斎藤ら 1998]。
- … [Karper 1993: 261]。
- … [Yamada and Suzuki 2017]。
- … [Yamada et al. 1993]。
- … [大前 1987: 25; Davidson 1993: 28]。

ただし、同一著者で同年次刊行物が複数引用されている場合は、刊行年次に続けてアルファ

ベットの付ける。

例

[Miranda 1964a]

[Miranda 1964b]

なお、本文中に著者名を入れる場合は、下記の例にしたがって、発行年、ページ数（必要な場合のみ）を全角角カッコ内に示す。

例

富田 [2001: 28] によると…

山田・鈴木 [2018] によると…

斎藤ら [1998] は…

Yamada and Suzuki [2017] は…

同一の文献を繰り返し引用や参照する場合にも、その都度、上に示した文献表記をすること。

5. 図、表および写真

すべての図、表、写真は、本文中で「……（図1）。」「表1に示す通り……。」などの形式で言及すること。掲載決定後にオリジナルファイルと差し替える。表の題は表の上に、注は表の下に記載する。図と写真の題および注は図と写真の下に記載すること。

6. 引用文献リスト

引用した文献はすべて原稿の末尾にまとめて、下記の要領で記載されたい。文献の配列は、日本語文献と英語文献、その他の外国語文献に分けて、記載すること。日本語文献は著者名の五十音順、英語文献および、その他の外国語文献は著者名のアルファベット順とし、同一著者のものが複数ある場合には年次順とする。文献の記載は、雑誌論文の場合、著者名、出版年、論文名、雑誌名、巻・号・ページ数の順とする。また、単行本あるいは単行本所収論文の場合、著者名、年号、論文名、編者名、書名、所収ページ数、出版社の順とする。欧文の雑誌名および書名はイタリック体で表記する。邦文の場合は、論文名に「」、雑誌名および書名に『』を付けることとする。オンライン文献の場合は、ウェブサイト名、URL、参照年月日の情報も記載すること。

記載例

池亀彩. 2021. 『インド残酷物語－世界一たくましい民』集英社新書.

菅原和孝. 1999. 「現代のブッシュマンー定住化と再移住」川田順造編『アフリカ入門』新書館, pp. 135-154.

竹田晋也・鈴木怜治・フラマウンテイン. 2007. 「ミャンマー・バゴー山地におけるカレン焼畑土地利用の地図化」『東南アジア研究』43(3): 334-342.

グレーバー, デヴィッド. 2022. 『価値論ー人類学からの総合的視座の構築』藤倉達郎訳, 以文社.

『毎日新聞』2000年3月22日(東京版朝刊)「米・インド` 関係ー両国首脳交流拡大の共同声明に署名」.

Social Watch. <http://www.chasque.apc.org/socwatch/index.htm> (1997年12月15日閲覧).

農林水産省. 2018. 農林水産省ウェブサイト「農業生産工程管理 (GAP) に関する情報」
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html> (2018年7月26日閲覧).

Bateson, Gregory. 1972. *Steps to an Ecology of Mind*. New York: Ballantine Book.

Kopytoff, Igor. 1986. The Cultural Biography of Things: Commoditization as Process. In Arjun Appadurai ed., *The Social Life of Things: Commodities in Cultural Perspective*. Cambridge: Cambridge University Press, pp. 64-91.

Ingold, Tim. 1990. An Anthropologist Looks at Biology, *Man* (N. S.) 25(2): 208-229.

Bourdieu, Pierre. 1990. *The Logic of Practice*, translated by Richard Nice. Cambridge: Polity Press.

Techawongtham, Wasant. 2000 (June 23). People Made to Pay for Mistakes, *Bangkok Post*.

NSC 41 1949 (February 28). Record Group 90 (National Archives/Washington, D. C.).

以 上

『ヒマラヤ学誌』編集委員会
2024年7月18日制定